

平成 21 年 (2009 年) 2 月 19 日

株式会社住宅構造研究所 様

長野県既存建築物耐震化評価委員会

会長 笹川 明



既存木造住宅の耐震補強に関する技術等の評価について

平成 20 年 1 月 10 日付けで申請のありました下記の工法について、本委員会において審査した結果、既存木造住宅の耐震性を向上させるものとして評価しました。

記

工法の名称	「ガーディアン工法 制振・耐震・フレーム補強」
工法の概要	既存木造住宅の床や天井を壊さず、粘弾性ダンパーを利用した制振補強壁、専用の耐震補強金物を利用する耐震補強壁、専用の柱頭柱脚金物を利用するフレーム補強により耐震性を向上させる工法
設計の方法	提出された設計マニュアルによる ((財) 日本建築防災協会「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法又は精密診断法 1 (保有耐力診断法) を用いる)
施工の方法	提出された施工マニュアルによる

備考：この評価を受けた工法は、長野県内の市町村が実施している住宅・建築物耐震改修促進事業 (旧すまいの安全「とうかい」防止対策事業) の既存住宅耐震補強補助事業の対象となります。